

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
プライマリ・ケア認定薬剤師研修会＋生涯学習委員会共催

「多職種協働で地域を診ること」

「医師はこう考えて処方する ～糖尿病診療～」

(大阪 2016 年 10 月 9 日 日曜日)ご案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号 P02)を取得いたしております。】

現在 19 番目の専門医として『総合診療医』が話題となっています。薬剤師に求められている能力にも『総合力』と『専門性』があります。午前の研修は薬剤師に求められている「多職種協働で地域を診る総合力」をスモールグループ形式で学びます。

午後の研修は、最近の糖尿病治療について、治療目標の定めかたから処方まで、医師の思考回路を理解し、何を目標にどんな処方箋を書くかの「専門性」にトライします。

時代の求めるブラッシュアップにお勧めの研修会です。生涯学習委員会との共催で参加の医師にも単位付与があります。 (細則による必須領域 A, C, D, E, I, J)

| 要 項 | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 主 催 | 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会 + 生涯学習委員会 |
| 2 | 研修開催日 | 平成 28 年 10 月 9 日(日) |
| 3 | 研修会場 | 新大阪丸ビル別館 4階 533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-18-22 案内図 http://marubiru-bekkan.com/access.php |
| 4 | 認定単位 | 薬剤師:3 単位 (認定薬剤師単位)、医師:4.5 単位(更新のための医師単位)を付与 |
| 5 | 受講資格 | 薬剤師、医師、医療職、医療関係者 |
| 6 | 定員 | 72名(スモールグループ形式) |
| 7 | 受講申込 | 締切り:平成 28 年 9 月 27 日(火)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。 |
| 8 | 受講振込 | 申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。 |
| 9 | 受講料 | 8,500 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 7,000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。 |
| 10 | 情報交換会 (先着 30 名) | 10 月 9 日(日)16 時 45 分より 会場:ホテル新大阪 1F レストラン で開催します。希望者は受講申し込み時にお申し込みください。和風料理＋飲み放題で参加費 4000 円。 |
| 申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp | | |

プログラム

2016年10月9日(日)

| | |
|-------------|--|
| 9:45～ | 受付 |
| 10:30～12:00 | ①「多職種協働で地域を診ること？」 <p style="text-align: right;">講師:朝倉 健太郎</p> <p>「協調性」はプライマリ・ケアが掲げる重要な要素の一つですが、この実践は意外に難しいものです。「患者さんや家族のため」という方向性は一致しているにも関わらず、その具体的な実践となると途端にうまく行かなくなってしまう理由はなぜでしょうか？どうして足並みが揃わないのでしょうか？多職種連携を推し進めるポイントを議論しつつ深めてみましょう。明日からの現場が一味ちがったものになるかもしれません。 (細則による必須領域：A, I, J)</p> |
| 12:00～12:50 | 昼食 (各自お取りください) |
| 12:50～14:20 | ②「医師はこう考えて処方する ～最近の糖尿病診療理論編～」 <p style="text-align: right;">講師:三澤 美和</p> <p>糖尿病診療は新しい薬が次々と出て、数年前とはまた違った治療ができるようになりました。一方で、糖尿病の治療目標は一律ではなく個々人の年齢、背景、併存症などに合わせてオーダーメイドであるべきという考え方が広まりつつあります。処方医はどんな風に患者さんの治療目標を定め、どうしてその処方をするのか？今のスタンダードを認識し処方医の思考回路を理解することで、処方箋を通して適切な患者指導、支援につなげられるように糖尿病診療を学びます。 (細則による必須領域:A,C,D,E,J)</p> |
| 14:30～16:00 | ③「あなたならどんな処方をしますか？～糖尿病診療実践編～」 <p style="text-align: right;">講師:三澤 美和</p> <p>前半で学んだ糖尿病診療のスタンダードを意識しながら、実際にいくつかのケースで模擬処方ワークをしてみたいと思います。処方医の思考を理解し、目の前の患者さんをどのように支援できるのか、どの点でこちらが注意をしておかないといけないのかななどを体感することで明日からの業務に役立てていただきたいと思います。あなたなら、何を目標にどんな処方箋を書きますか？グループワークを入れる予定ですので活発なディスカッションをお願いします。 (細則による必須領域：A,C,D,E,J)</p> |

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

(敬称略)

朝倉 健太郎 社会医療法人 健生会 大福診療所所長、日本プライマリ・ケア連合学会理事、
プライマリ・ケア認定医、家庭医療指導医、京都大学臨床講師

三澤 美和 大阪医科大学附属病院 総合診療科、大阪医科大学地域総合医療科学寄付講座
特任助教、日本プライマリ・ケア学会認定家庭医療専門医・指導医、日本糖尿病
学会認定糖尿病専門医